



東白川小だより

令和5年6月20日(水) №4

校長 桂川 辰也

可茂地区へき地・複式教育研究会を終えて



6月15日(木)に東白川小学校を会場にして、見出しの会が行われました。当日は、可茂管内の教育長さん、校長先生など約40名の教育関係者が来校し、5時間目の授業と、プレゼンによる本校の取組をご覧になりました。以下は参観者の感想ですが、同様の感想が多かったものを紹介させていただきます。

- ・ 子どもたちが元気に大きな声であいさつしてくれて、とても気持ちよかったです。
- ・ 小人数だからこそできる、一人一人に寄り添った指導が出来ていると感じました。
- ・ 1, 2年生の生活科、裏山の活動は最高でした。東白川村ならではの授業でした。
- ・ 3, 4年生の地域や他校とのつながりを生かしたふるさと教育、とても参考になりました。
- ・ 5, 6年生のICTを活用した授業では、子どもたちが機器の使用について鍛えられていると感じました。
- ・ 広く清潔感のある校舎内外、地域の方や職員の愛情をたっぷり受けた美しい学校に感動！
- ・ 学校に田んぼ、茶畑、山があり、管理もバスの運転士さんたちが手助けくださるなんて、羨ましい。
- ・ 地域の方が講師に来てくださったり、村内施設の見学や体験のためにスクールバスが利用できたいする村のバックアップ体制が羨ましいです。
- ・ 全校登山への協力をはじめ、保護者と学校の関係がとても素敵で、子どもたちが幸せだと思いました。
- ・ 生け花ボランティアさんや読み聞かせボランティアさんなど、子どもたちのために学校職員以上に尽くして下さる方がいて凄いですね。
- ・ 子どもたちがみんな素直で、子ども同士も担任の先生との関係もとても良いと思いました。

研究会では、「へき地の特性を生かした教育の在り方」について会場校として提案しましたが、参観された先生方に概ね認めていただきホッとしました。会場校への労いを込めての感想かもしれませんが、子どもたちの姿を褒めてくださったことが何よりでした。

今までも、保護者や地域に感謝しながらやってきたつもりでしたが、こうやって外部の方の声を聞くと、改めて素敵な学校に勤めさせていただいていると感じました。職員一同、こういった環境にあぐらをかきたくないよう、気持ちを引き締めなおして子どもたちのために頑張りたいと思います。これからもよろしくお願いします。

PS.「東白川小学校がもう少し近くだったら赴任したい」と多くの先生に言われましたが、距離だけは何ともできないですね。(笑)